

文化財紹介

「上宮寺本堂・応接部分及び鐘楼」

(大正3年)

(平成29年10月27日 国登録文化財)

所在地 広尾5-2-29

上宮寺本堂



上宮寺本堂・応接部分及び鐘楼は、四方吹放しの四脚鐘楼の三棟は、平成二十九年十月に国登録有形文化財(建造物)に登録されました。

上宮寺は、浄土真宗本願寺派の寺院で、神奈川県津久井郡藤野町名倉(現相模原市緑区)に建立されたといひます。

大正二年(一九一三)十二月に、京都府出身の蔵田了観により現在の地に移転し、寺名を善福寺から蔵田山上宮寺へと改めました。その当時のこの界限は、上宮寺の目の前には七星舎牧場があり、のどかな風景が広がっていました。

現在の上宮寺は、通りに面して山門を構え、境内の右手側に新築の上宮会館、左手側には鐘楼、正面左手に本堂を配しています。今回、登録された建物部分は、本堂と応接部分及び鐘楼の三棟になります。本堂の外観は、木造平屋建て瓦葺の入母屋造で妻入を設けています。応接部分も、木造平屋建て瓦葺の切妻造で平入となっています。鐘

楼は、四方吹放しの四脚鐘楼で、切妻造、棧瓦葺となっており、梵鐘も建立当時のものが現存します。三棟ともに、境内の手水鉢、本堂内の「遷仏慶讃会」板が、ともに大正三年三月「蔵田山上宮寺」と記されていることから、建設年代は大正三年と考えられますが、今から百年以上前に建てられたものとは思えないほど、手入れが行き届いています。

本堂の内部は、華やかな装飾が施された内陣に対して簡素な外陣の大空間、矢来により両空間が仕切られるなど、浄土真宗特有の仏堂の特徴がよく表現されています。

応接部分は、本堂南側に接続し、三つの部屋と玄関、前室と畳廊下で構成されていますが、良好な状態を維持しています。

鐘楼も建設当時から変わらぬ姿をとどめており、上宮寺がこの地に移されてからの遺構も現存し、都市部における寺院境内の好例といえるでしょう。

【今後の展示予定】

◆企画展「渋谷のむかし写真展シリーズ 25」

平成30年6月16日(土)～8月5日(日)

◆企画展「ハチ公と忠犬ハチ公像」

平成30年8月11日(日)～10月8日(月)

◆特別展「作家・平岩弓枝」展

平成30年10月20日(土)

～平成31年1月20日(日)

白根記念

渋谷区郷土博物館・文学館

SHIBUYA FOLK AND LITERARY SHIRANE MEMORIAL MUSEUM

開館時間 ◆ 11:00～17:00 (入館は16:30まで)

休館日 ◆ 月曜日(休日の場合はその直後の平日)・年末年始

入館料 ◆ 一般:100円(80円) / 小中学生:50円(40円)

※()内は10名以上の団体料金

※60歳以上の方、障害のある方と付き添いの方は無料

お問い合わせ ◆ 東京都渋谷区東4丁目9-1 TEL:03-3486-2791

郷土博物館・文学館だより vol.38

平成30年8月1日発行